

初春どり重量野菜の端境期に対応した品質安定化技術

【研究概要】

対象品目であるダイコン、キャベツ、ハクサイの初春どりに適した品種の選抜を行った。

ダイコンは28品種を2021年10月14日に黒マルチ9230敷設ベッドに播種し、寒冷紗と穴あき農ポリの2重被覆下で栽培した。低温による枯死株率や抽苔株率の大きい21品種は除外し、7品種を対象に2022年3月8日に収穫調査した。抽根部や内部の障害が少なく、サイズが揃う「YR春の浦、春やよい2号、春づまり、桜の砦」を有望品種として選定した。

キャベツは20品種を2021年9月上旬～10月上旬に3回に分けて定植し、2022年3月16日に収穫調査した。3回の栽培のうち遅い時期のものでは結球が不十分なため、定植期は9月下旬までが妥当である。品種では寒害や抽苔の程度、球重や品質から「ひなの、ふゆおこ、青龍345、夢ごろも、C117」を有望とした。ハクサイは晩生系14品種を2021年9月下旬～10月中旬に3回に分けて定植した。栽培時期が早いものほど可販重が大きく、最も遅い10月中旬定植では不結球となった。よって、定植時期は10月上旬までが適正である。低温障害が少なく可販重が大きく、抽苔の危険のない「おもむき、N-189、冬の祭典」を有望品種とした。